

ほのぼのファミリー通信 Vol. 10

2004年5月発行
第1巻第10号
(通巻10号)
発行人 最上 俊郎
発行所: 全国二分脊椎症協会
山形支部
ほのぼのファミリー
編集人: 飯野 美智子

平成16年度山形支部総会開催

去る3月7日(日)、平成16年度日本二分脊椎症協会山形支部の総会を、天童市福祉センターにて行いました。参加家族は、6家族。お子さんが大きくなると都合が合わないことも多く、参加者が減少しているのが残念です。

総会では、例年通り昨年度の活動報告および決算報告を行い、今年度の活動計画案と予算案が了承されました。会員数は、3名退会、入会なしで15名となってしまいました。今年は、任期が長くなった役員の変更を行い、4名のうち3名が交代しました。新しい役員名は以下の通りです。交代に伴って色々ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがよろしくお願い致します。

新支部長 : 最上 俊郎
新副支部長 : 横山 利明
新事務局 : 飯野 美智子

新支部長よりご挨拶

この度、新支部長に就任しました最上です。まだ入会して2年余りで大役を引き受けることになり、会全体をまとめ、活動して行けるか不安で一杯ですが、会員皆様の協力を得て、今まで以上に盛り上げて行けるようにと頑張りたいと思います。今後のお願いと共に御指導、宜しくお願い致します。

今年度の活動計画

- ・ 7月 4日 レクリエーション 1
 - ・ 11月 14日 お楽しみ会 2
 - ・ 3月 総会
- 1 今回は置賜地区での開催となります。今回も陶芸体験です。その後、バーベキューとなります。お楽しみに!! ホームページで詳しい情報を載せますのでごらん下さい。お問い合わせもできますのでお気軽にどうぞ。
- 2 とりあえず日程だけ決めました。皆さんのやってみたいこと等ご希望があれば

検討致しますのでお知らせ下さい。みなさんの参加をお待ちしておりますのでぜひ予定にいらして下さい。

講演会は、県総合療育訓練センター所長の井田英雄先生をお招きして行いました。「二分脊椎症における整形外科的諸問題」と題して基本的なことから今後の課題までお話し頂きました。以下は、井田先生がお話して下さった内容の要約です。

【井田英雄先生略歴】

昭和55年に山形大学医学部をご卒業後、同大学に勤務され、平成11年より助教授となられました。平成13年より県立総合療育訓練センターの所長に就任され、現在も関節外科(股関節)を専門にご活躍されていらっしゃいます。



【ご講演内容要約】

現在二分脊椎症は1万人に1.3人の割合で発症している。そのうち顕在性と潜在性の割合は1対1で、潜在性は成人の8~15%と言われている。

麻痺のレベルによる運動機能は発症部位により異なり、全く歩けない場合から神経因性膀胱のみの場合まで人により症状が違う。リハビリテーションは、残存機能を使った機能の再獲得、抗重力機能の発達・維持、又、変形・拘縮の予防として小さいうちは積極的に行い、学童期には維持を目的に進める。

